

# 「北陸ICTネットワークセミナー2013」を開催 ～ サイバー攻撃に対する情報セキュリティ技術の研究開発と人材育成に向けて ～



北陸総合通信局 伊丹局長挨拶

北陸総合通信局（局長：伊丹 俊八）は、北陸情報通信協議会（会長：永原 功 北陸経済連合会会長）、北陸ICTネットワーク推進連絡会（座長：丹 康雄 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授）、ICT研究開発機能連携推進会議（会長：細野 昭雄 株式会社アイ・オー・データ機器代表取締役社長）及び財団法人石川県産業創出支援機構（理事長：谷本 正憲 石川県知事）との共催により、平成25年度情報通信月間行事の一環として、7月23日（火）、石川県能美市の石川ハイテク交流センターにおいて、「北陸ICTネットワークセミナー2013」を開催し、企業、大学、自治体等から98名の参加をいただきました。



総務省情報セキュリティ対策室  
村上調査官

はじめに、主催者を代表して、伊丹北陸総合通信局長が、「今後、クラウドやM2Mなどの利用によるビッグデータの利活用が一層増える中で、大規模化、仮想化するネットワークのセキュリティ強化は、国として実施すべき重要な環境整備と認識している。本日のセミナーでは、総務省の情報セキュリティ技術に関する研究開発等の取組に理解を深めていただくとともに、北陸管内の企業や大学にも、NICT北陸StarBED技術センターをはじめとする施設を活用し、産学官の新技术開発などを期待したい。」と挨拶しました。

続いて、総務省情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室の村上 聡調査官が「総務省における情報セキュリティに関する取組」、独立行政法人情報通信研究機構北陸StarBED技術センターの三輪 信介センター長が「サイバーセキュリティ技術の研究開発・実証実験基盤の研究開発・整備」、北陸先端科学技術大学院大学の丹 康雄教授が「北陸先端科学技術大学院大学における情報セキュリティ人材育成」と題して、それぞれ講演され、サイバー攻撃に対する情報セキュリティ技術の研究開発と人材育成について理解を深めました。

また、講演後は北陸StarBED技術センター等の施設見学を行い、最先端のICT研究開発施設について参加者から多くの質問が出されるなど、高い関心が示されました。



北陸StarBED技術センター  
三輪センター長



北陸先端科学技術大学院大学  
丹教授



施設見学の様子

